

女性の政治参加に関する議員アンケート調査（速報値）

公益社団法人北海道地方自治研究所

ダイバーシティ研究会

（研究会主査 山崎幹根）

北海道地方自治研究所は二〇二一年度より、二〇二三年の統一地方選挙を見据えつつ、地方自治の担い手を多様化させるための課題解決に向けて「ダイバーシティ研究会」を設置し、調査・研究を行ってきた。その一環として、二〇二二年に女性議員をめぐる現状と今後の方向性を考察することを目的として、主道の二八地方議会（政令市一、市一五、町一二、村〇）の議員を対象にアンケートを行った。議員総数四八八名に調査票を送付し、八月二日時点で三四二名より回答を得た。回答率は七〇％であり、類似の調査と比較すると非常に高い点が特筆され、関心の高さがうかがえる。今回は速報版として概要を紹介したい。なお、本研究会では今後、クロス集計を行い性別や自治体規模による特徴を明らかにするとともに、幾つかの地方議会に赴いて地方議員へのインタビューを行うことによって、掘り下げた分析を行う。より詳しい考察は『北海道自治研究』に掲載する予定である。

第一の特徴として、本会議・委員会の日程、議案の提出や質問など議会運営に関しては、総じて

男女関係なく公平性が確保されているとの回答が九〇％以上を占めており、公式的な次元では女性議員が不当に差別されることはない（問4、5）。ところが、第二に、「女性議員は男性議員より不利だと思いませんか」との問いに関して、三〇％以上から「そう思う」との回答があり、これは地方議会の規模に関係なくほぼ同じ比率である（問7）。その理由について見ると（問8・複数回答）、「議員・議会活動と家庭や家事との両立」、「立候補や議会活動について家族や周囲の人々の理解を得ること」の比率が高い。先に見たように公式的な議会運営においては男女の差別なく公平性が確保されている一方、ここでは非公式的な次元での制約要因が女性にとって重荷になっている現状が明らかにされた。女性の政治参加を広げる取り組みが女性自身の「自己責任」に帰せられてしまいかねない構図があることに留意が必要である。さらに「有権者や職員等からの各種ハラスメントや差別の存在」も五一％と看過できない。

第三に、全体として議員構成の現状認識として女性議員が少なく、今後増加すべきとの意見が多

数を占めている（問9、10）。その理由として、「議員構成が変わることにより議会が多様化・活性化するから」、「議会で取り上げられる政策が多様化するから」の選択肢が上位を占めている（問11）。第四に、「今後、女性議員を増やすためには必要な方策」を尋ねたところ（問15）、意外なことに「法律による女性議員または候補者を一定比率とする義務化」の回答は多くはなく、むしろ、各議会の努力による制度の整備、社会全体での啓発活動や、児童・生徒・学生に対する主権者教育などが多数を占めた。法律による一律的な目標達成よりも、ソフトな手法により徐々に実現することを志向する傾向が見られる。

最後に、ご多忙の中、本アンケート調査にご協力くださった方々に、記して感謝申し上げる次第である。

ハやまざき みきね・北海道大学公共政策大学院教授

資料 女性の政治参加に関する調査の調査項目と回答結果（速報値）

	調 査 項 目	全体 342名	%	所属議会			
				政令%	市%	町村%	
問 1	あなたの性別について						
	①男性 ②女性	260 82	76.0 24.0	67.9 32.1	75.4 24.6	81.6 18.4	
問 2	あなたの所属する議会について						
	①政令市議会議員	53	15.5	100.0	—	—	
	②市議会議員	191	55.8	—	100.0	—	
	③町村議会議員	98	28.7	—	—	100.0	
問 3	本会議の会期や委員会などの日程、時間等は出席しやすいように設定されていますか						
	①設定されている	316	92.4	100.0	93.7	85.7	
	②設定されていない	23	6.7	—	5.8	12.2	
	③N・A	3	0.9	—	0.5	2.0	
問 4	議員による議案の提出や質問は、男女関係なく公平に取り扱われていますか						
	①公平に取り扱われている ②公平に取り扱われていない	340 2	99.4 0.6	100.0 —	99.5 0.5	99.0 1.0	
問 5	議会内の役職について、男女関係なく公平に取り扱われていますか						
	①公平に取り扱われている ②公平に取り扱われていない ③N・A	325 16 1	95.0 4.7 0.3	92.5 7.5 —	95.8 4.2 —	94.9 4.1 1.0	
	問 6	あなたの議会では、女性議員への配慮や制度はありますか（例：産休、育休、託児所、授乳所等） また、どのような制度等が整備されるべきと思いますか					
	①ある ②ない ③あると望ましい制度等 ④N・A	179 109 35 19	52.3 31.9 10.2 5.6	64.2 13.2 11.3 11.3	51.3 31.9 11.0 5.8	48.0 41.8 8.2 2.0	
問 7	女性議員は男性議員より不利だと思いますか						
	①思う（問8へお進みください） ②思わない（問9へお進みください） ③N・A	111 228 3	32.5 66.7 0.9	34.0 64.2 1.9	30.4 69.1 0.5	35.7 63.3 1.0	
	問 8	問7で「1. あると思う」と回答した方にお尋ねします。女性が不利だと思う理由をお答えください（当てはまるものをすべて選んでください）					
	①議員・議会活動と家庭や家事との両立 ②立候補や議会活動について家族や周囲の人々の理解を得ること ③立候補や議会活動に必要な情報やノウハウ等へのアクセス ④選挙や議員活動に必要な資金の調達 ⑤有権者や職員等からの各種ハラスメントや差別の存在 ⑥その他（ ） ⑦N・A	88 77 25 30 57 7 5	79.3 69.4 22.5 27.0 51.4 6.3 4.5	83.3 72.2 22.2 22.2 72.2 — 5.6	74.1 67.2 19.0 31.0 53.4 6.9 5.2	85.7 71.4 28.6 22.9 37.1 8.6 2.9	
問 9	あなたの議会では女性議員が多いと思いますか						
	①多い ②ちょうどよい ③少ない ④女性議員がいない ⑤N・A	30 82 194 26 10	8.8 24.0 56.7 7.6 2.9	9.4 35.8 49.1 — 5.7	10.5 27.2 55.5 4.2 2.6	5.1 11.2 63.3 18.4 2.0	
	問 10	近年、女性議員を増やすべきという声が高まっています。あなたは女性議員をさらに増やすべきと思いますか					
		①そう思う（問11へお進みください） ②そう思わない（問12へお進みください） ③わからない ④N・A	236 55 47 4	69.0 16.1 13.7 1.2	64.2 17.0 18.9 —	64.9 16.8 17.3 1.0	79.6 14.3 4.1 2.0
		問 11	問10で「1. そう思う」と回答した方にお尋ねします。増やすべきとする理由をお答えください（当てはまるものをすべて選んでください）				
①議員構成が変わることにより議会が多様化・活性化するから ②議会で取り上げられる政策が多様化するから ③議会運営や議員活動を取り巻く環境が改善されるから ④男女ほぼ同数の有権者割合を議会も反映すべきだから ⑤女性議員が増えれば、女性有権者の声もより反映されるようになるから ⑥議員のなり手不足解消につながるから ⑦その他（ ）			117 122 57 64 78 30 4	49.6 51.7 24.2 27.1 33.1 12.7 1.7	41.2 52.9 41.2 32.4 26.5 8.8 2.9	47.6 50.0 21.0 22.6 30.6 8.9 0.8	56.4 53.8 21.8 32.1 39.7 20.5 2.6

問	調査項目	全体 342名	%	所属議会		
				政令%	市%	町村%
問12	問10で「2. そう思わない」と回答された方にお尋ねします。女性議員を増やす必要はないと考える理由についてお答えください（当てはまるものをすべて選んでください）					
	①現状でも女性議員の数は十分だから	25	45.5	33.3	53.1	35.7
	②性別などを問わず常に公平な議会運営が行われているから	43	78.2	77.8	78.1	78.6
	③女性議員を増やすための改革は合意形成が困難であるなど労力を要するから	3	5.5	—	6.3	7.1
	④女性は議員に向いていない職業とを感じるから	2	3.6	11.1	—	7.1
	⑤女性議員を増やす取り組みは男性議員に対する逆差別につながるから	19	34.5	11.1	34.4	50.0
	⑥女性議員の立候補や選出は世論の動向に委ねるべきだから	15	27.3	22.2	28.1	28.6
	⑦女性議員の増加は地方よりも先に国政レベルで実現すべき課題だから	6	10.9	—	18.8	—
	⑧その他（ ）	3	5.5	—	6.3	7.1
⑨N・A	1	1.8	—	3.1	—	
問13	2018年に制定施行された候補者男女均等法（政治分野における男女平等の推進に関する法律、国会と地方議会の選挙で男女の候補者数をできる限り均等にするよう政党や政治団体に努力義務を課している）が制定されたことを知っていましたか					
	①知っていた	276	80.7	86.8	80.6	77.6
	②知らなかった	63	18.4	13.2	19.4	19.4
③N・A	3	0.9	—	—	3.1	
問14	上記の候補者男女均等法を実効的なものにするには、どのような改正が必要だと思いますか					
	①政党に対し、女性候補者比率の数値目標を法的義務化する	76	22.2	9.4	23.6	26.5
	②女性候補者比率の数値目標を達成できない政党に対する罰則規定	17	5.0	3.8	5.8	4.1
	③人材育成やハラスメント防止について、より具体的な規定を設ける	104	30.4	28.3	29.3	33.7
	④現行どおり、政党等の自主的な取り組みのままでよい	112	32.7	45.3	33.0	25.5
	⑤その他（ ）	19	5.6	7.5	5.2	5.1
⑥N・A	14	4.1	5.7	3.1	5.1	
問15	今後、女性議員を増やすためには必要な方策は何でしょうか（当てはまるものをすべて選んでください）					
	①国会が女性議員または候補者を一定比率とするよう法律で義務化する	97	28.4	20.8	27.2	34.7
	②各議会の努力により女性議員が活動しやすいような制度を整備する（出産、育児等）	229	67.0	64.2	66.5	69.4
	③社会全体として男女平等や多様化を促すための啓発活動を国、地方ともに行う	226	66.1	64.2	64.4	70.4
	④児童・生徒・学生に対する主権者教育	203	59.4	58.5	57.6	63.3
	⑤特別な対応を行う必要はなく、世論や有権者の動向に委ねるべきである	60	17.5	22.6	18.8	12.2
	⑥その他（ ）	10	2.9	1.9	2.6	4.1
⑦N・A	14	4.1	1.9	4.2	5.1	
問16	あなたが議会で力を入れて取り組んでいる政策分野を3つ選んでください					
	①景気・雇用	80	23.4	37.7	20.4	21.4
	②中小企業対策	37	10.8	9.4	14.1	5.1
	③地域振興（農林水産含む）	148	43.3	18.9	39.8	63.3
	④医療・福祉・介護	150	43.9	47.2	45.5	38.8
	⑤子育てや少子化対策	142	41.5	62.3	41.9	29.6
	⑥教育・学校・給食	124	36.3	32.1	38.7	33.7
	⑦地方自治のあり方	41	12.0	15.1	10.5	13.3
	⑧議会改革	48	14.0	1.9	14.7	19.4
	⑨行財政改革	24	7.0	3.8	7.3	8.2
	⑩税制のあり方	3	0.9	—	1.0	1.0
	⑪社会資本整備と維持管理	47	13.7	11.3	13.6	15.3
	⑫環境・エネルギー	82	24.0	24.5	25.7	20.4
	⑬防災減災や災害対策	73	21.3	18.9	21.5	22.4
⑭N・A	2	0.6	1.9	—	1.0	

注：その他（自由記述）については紙幅の都合で掲載していない。